

## 第2学年 国語科学習指導案

1 単元名 ことばを比べよう もっと「伝わる」表現を目ざして

2 単元について

言葉には、抽象的な概念を表すものがある。これらは日常生活の中で用いられるが、具体的な物や事柄を示す言葉に比べ、意味や使い方を正確に理解することが難しい。本単元は、類義語と比べることで、抽象的な概念を表す言葉への理解を深めることをねらいとしている。

本学級は、意欲的に学習に取り組む生徒が多い。しかし、積極的に発言する生徒もいれば、全体の場で発言することが苦手な生徒もいるなど、取り組み方には差がみられる。

そこで、本単元では、話型の指導等、生徒が安心して発言できるように手立てを講じていく。また、ICTを活用することで、全員の考えをスムーズに共有できるようにしたい。言語活動を充実させることで、生徒の語感を磨き、語彙力を高めていきたい。

3 全体計画（全1時間）

第1次 抽象的な概念を表す語句について、類義語と比較して理解することで、語感を磨き、語彙を豊かにする。 . . . . . 1時間（本時）

4 本時の学習（1／1時）

(1) ねらい

抽象的な概念を表す語句について、類義語と比較して理解することで、語感を磨き、語彙を豊かにすることができる。

(2) 展開

◎研修主題との関連    △支援を必要とする子供への手立て    下線 幼保小中高の系統性

学 習 活 動 (時配)	指 導 上 の 留 意 点 評 価
<p>1 リード文(教科書P80)を読み、本時の課題を確認する。  <div style="text-align: right; border: 1px solid black; padding: 2px;">全体 (3)</div> <div style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;">抽象的な概念を表す言葉を使いこなせるようになるろう</div> </p>	<p>・本時の流れを確認させることで、学習の見通しをもたせる。</p>
<p>2 ①分類しよう(教科書P80)の課題に取り組み、2つに分けた言葉を比べ、具体と抽象、それぞれの特徴を考える。  <div style="text-align: right; border: 1px solid black; padding: 2px;">個人→全体 (10)</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・具体・・・菊・氷・鍋・太陽・ボール・鉛筆</li> <li>・抽象・・・理想・目的・模範・規準・本質・覚悟・予想</li> <li>・具体は、目に見えたり触ったりすることのできる1つ1つの事象。認識できる状態であるもの。</li> <li>・抽象は、あいまいではっきりせず、分かりにくい。</li> <li>・抽象的な概念を表す言葉には、類義語がある。 例) 予想・予期、予測、予知</li> </ul> </p>	<p>◎One Noteの配付機能を使って資料を配付し、単語カードを動かし具体と抽象に分けさせることで、思考を視覚化し、考えを共有しやすくする。</p> <p>・「<u>類義語・対義語・多義語</u>」の学習や「<u>具体と抽象</u>」の学習を振り返ることで、<u>類義語・具体・抽象の意味を思い出させる。</u></p>
<p>3 類義語を比較して、イメージの違いを考える。  <div style="text-align: right; border: 1px solid black; padding: 2px;">個人→グループ→全体 (17)</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・晴れやか、爽快 晴れやか・・・明るさ、元気さ、服装や表情等の外見 爽快・・・すっきり、さわやか、リフレッシュ、味</li> <li>・美味しい、絶品</li> <li>・寂しい、淋しい</li> <li>・楽しい、面白い</li> <li>・明確、正確</li> <li>・予想、予期</li> </ul> <p>③言葉を比べよう(教科書P81)の課題に取り組む。 類義語でも使われ方が違う。</p> </p>	<p>・グループごとに課題を分担して発表させることで、短時間で考えを深められるようにする。</p> <p>◎話し合いを円滑に進めるための話型を黒板に貼るなどして、協働して学びを深められるように支援する。</p> <p>・ホワイトボードを使って意見を共有させることで、他者の考えに気付かせる。</p> <p>・類義語の意味を比較することで、言葉の意味が明確化されることに気付かせる。</p> <p>・類義語の使い方が異なることを確認することで、もっと「伝わる」表現のためには、よりふさわしい言葉を選択する必要があることに気付かせる。</p>

4 類義語クイズを作成し、One Noteで共有する。

全体→個人→全体 (15)

例) 長年の〇〇がなかった。〇〇に入る言葉は？

- ・野望 ・理想 ・意欲 ・願望

例) 「基準」と「標準」どれが入るかな？

- ・〇〇を上回る記録を出した。(基準、標準)
- ・建築〇〇を満たした家を建てる。(基準)
- ・僕の体重は〇〇的だ。(標準)

<手順>

- ① 類義語を集める。
- ② 類義語の用例を調べる。

5 学習を振り返り、分かったことをまとめる。

個人 (5)

- ・抽象的な概念を表す言葉には、類義語があることが分かった。類義語は似ていても使われ方が違うので、今後はよく考えて使用していきたい。
- ・友達のクイズを見て、いろいろな言葉の使い方が分かった。

・クイズ例や手順を示すことで、課題解決の方法や目的を共有させる。

△手順を大型テレビに映し出すことで、端末操作の苦手な生徒も課題に取り組めるように支援する。

◎互いのクイズをOne Noteで共有させることで、語彙を豊かにする。

◆知識・技能

抽象的な概念を表す言葉について理解し、類義語の微妙な違いを考えることを通して語感を磨き、語彙を豊かにしている。(発言、ワークシート)

5 板書計画

ま と め

- ★類義語を比較することで、意味が明確化する。
- ★似ていても使い方は異なる。
- ★よりよい表現にするために適切な語句を選ぶ。

クイズ例

◆類義語クイズを作成しよう

ホ ワ イ ト	ボ ー ド

- ・正確
- ・明確
- ・淋しい
- ・楽しい
- ・面白い
- ・予想

- ・美味しい
- ・絶品
- ・予知

◆どんなイメージの違いがあるだろう

晴れやか

例 予想 予期 予測 予知：類義語

抽象：あいまい／はっきりしない

具体：知覚認識できる／一つ

言葉を比べよう もっと「伝わる」表現を目ざして

抽象的な概念を表す言葉を使いこなせるようになるよう